

行事で得られるもの

校長 岩田 明正

はらはらと落ちていく色とりどりの葉っぱに秋の深まりと本格的な冬へと移り変わる季節を感じます。日頃より本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、10月の修学旅行に続いて11月は大きな行事が2つございました。11月7日(土)に行われた第34回運動会と11月16日(月)、17日(火)に4、5年生対象で行われた上郷の森宿泊体験学習です。前期に行う予定だった行事がほとんど後期に移動したため、スケジュール的にはとても忙しい形になっています。また、どの行事も新型コロナウイルス感染症対策を講じて行うので、例年と違う形、違う時間、違う場所での開催にならざるを得ませんでした。保護者、地域の皆様には本当にご不便をおかけして申し訳なく思います。また、子どもたちも我慢をしながら、なんとか行事を行っている状況です。

それでもあえて様々な行事を行っているのは、行事によって得られるものがとても大きいからです。

例えば、運動会では普段の生活からは見られない頑張りや、最後まで出場した競技をやり抜こうとする粘りがいたるところで見られました。学年が上がるごとに力強さも増し、演技種目では低学年の愛くるしいダンス、中学年のより高度な踊り、そしてさすが高学年という迫力のソーラン節。いつもよりも練習時間が少なかったにもかかわらず、しっかりと準備をして臨もうとする気迫のようなものが感じられました。また、思ったような結果が得られなかった友人に対して、励ますような場面もあり、思いやりや優しさをたくさん感じる事ができました。

宿泊行事については、私は今回引率として参加していないので、夜にちょっとだけ上郷森の家に様子を見にいきました。ちょうどキャンドルファイアを行っていたのですが、みんな楽しそうにレクをしたり、踊りを踊ったりしていました。その様子を見ただけで、朝から今までがとても楽しい時間だったのだなとすぐに感じる事ができるくらい、笑顔であふれていました。レク係の人に協力しようとか、行事を盛り上げるために頑張るぞという思いがひしひしと伝わってきて、それだけで大成功といえるような雰囲気でした。

このように、普段の生活では見ることができない子どもたちの姿、課題を乗り越えて成長していく姿は、毎日の学習活動の学びからはなかなか得難いもの。行事をやってよかった!と思えるのはとても幸せなことです。そして、私たち教職員も含め、行事は人の成長につながっていくのだとあらためて認識を新たにする機会となりました。

ここまで、良いことばかりを書きましたが、もちろん反省すべきこともあります。保護者の皆様には行事へのアンケートにご協力いただいておりますが、寄せられた意見を参考にして、より良い形での教育活動を行っていきたいと考えております。

第34回 運動会 各ブロックの様子

どの学年も元気いっぱい走って踊って応援した一日でした。

低学年ブロック「おしゃ Let's 舞小征服インベーダー」

今年の演技は、各クラスで色の異なるポンポンを持って踊りました。ポンポンを使ったダンスを初めて見た時からみんなの目は輝き、練習を重ねるにつれて「もっと踊りたい!」という声が高

まりました。当日は、「今までで一番いい笑顔で踊れた。」「みんなとリズムを合わせてダンスができたよ。」などの声上がり、練習の成果を発揮する姿が見られました。



中学年ブロック「 飛翔の刃! 」

今年は縄跳びを使った演技をしました。全員で動きを合わせることを意識して練習に励みました。

ダンス実行委員を立ち上げ、グループに分かれて動きを確認し、一つひとつの動きが格好良くなるように声をかけ合っていました。全体での練習では、最初に順々に立ち上がっていくところを、横の列が揃って立てるように何度も練習をしました。隊形移動は、縦と横の列を揃えるのが難しかったですが、繰り返し練習していく中で、周りをよく見て、自ら考えて演技をすることができました。



高学年ブロック「伝統の舞ソーラン!!」

5・6年生ともに、練習から実行委員を立ち上げ、クラスや学年で練習をしてきました。動きの意味を考えたり、迫力

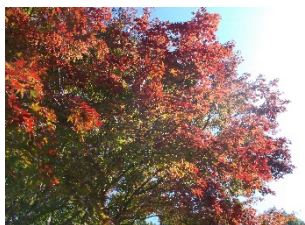
ある動きを目指したり…。昨年教えてもらう立場だった6年生は、改めて教える難しさを感じていました。練習を重ねていくうちに、動きがそろい、声が出るようになり、本番では高学年としてこれまでで1番の舞ソーランを踊ることができました。



2学年合同 遠足・宿泊体験

この秋は、たくさんの思い出ができました。

1・2年生「舞岡公園合同遠足」



雲一つない秋晴れの中、鮮やかな紅葉に包まれた舞岡公園へ遠足に行きました。

舞岡公園までの道のりでは、生き物を見つけたり、自然に親しんだり、秋を感じながら歩くことができました。

4つのテーマ「だるまさんが転んだ」「落ち葉遊び」「自然の物を使って工作」「しっぽ取り」に分かれて自分のやりたいものを選び、それぞれ遊びました。1・2年生一緒に遊ぶのは初めてでしたが、協力し合って楽しみました。



4・5年生「上郷宿泊体験学習」



スローガン「T（楽しく）K（協力）C（チャレンジ）上郷へGO!」を意識し、4・5年生合同で、上郷・森の家で宿泊体験学習を行いました。「キャンドルファイヤーや部屋レクでは、楽しく過ごすことができました。」「ポイントラリーでは、協力してクイズを解いたり、俳句を考えたりできました。」「今回は、スローガンにもある『チャレンジ』を意識して、班長や室長に挑戦し、みんなをまとめることができました。」それぞれのめあてを意識し、一人ひとり成長が見られる充実した活動となりました。



専任より

テレビをつけると、新型コロナウイルスの話題が多く、私は不覚にも不安感に襲われることがあります。テレビをつけない時間を設けるなど、不必要に不安にならないように工夫して暮らしたいと思えます。また、学校では新型コロナウイルスによる差別やいじめを許さないという姿勢で、落ち着いて対処していきたいと考えています。日本赤十字社の「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」というサイトを見ると、気持ちを振り回されないために必要な考え方が分かりやすく掲載されています。心が弱ってきたなと感じたときに、ご覧いただくと大切なヒントが見つかるかもしれません。